

なごや裏山芸術祭 2026

開催期間：2026年10月31日[土]→11月8日[日] 会期中無休の9日間
開催時間：10:00→17:00 / 鑑賞無料
開催場所：名古屋市 西山商店街界隈 / 星ヶ丘界隈 / 虹ヶ丘界隈

■ インフォメーション:コトづくり研究所(西山商店街内) / H GARAGE(星ヶ丘)
当日の会場MAPと裏山スタンプラリースタンプシートはインフォメーションで配布します。会場MAPは公式WEBサイトでも公開します。

■ 参加アーティストによるWORKSHOP(有料)
WORKSHOPの詳細はWEBサイト/インスタグラムにて順次公開致します。
*各WORKSHOPごとに会場や参加費は異なります。

■ とぶくじらWORKS「こどもミュージカルワークショップ」
11月8日[日] 開催 / 場所:アーバンラフレ星ヶ丘 中庭(参加有料/鑑賞無料)

WEBサイト

Instagram

ワークショップのお申し込みは WEB サイト/インスタグラムから専用フォームにて受け付けています。



なごや裏山芸術祭2026実行委員会



植村 康平
一級建築士。名古屋を拠点に活動する建築家で、植村康平建築設計事務所を主宰。名東区・西山商店街においては、ニシヤマナガヤの設計・運営、未完美術館やなごや裏山芸術祭を通じ地域と文化を結ぶ。なごや裏山芸術祭実行委員長



野村 祐介
愛知県立芸術大学美術学部 卒業/修了。グラフィックからアートプロデュースまで幅広く活動。小学生のためのデザイン教室「ふしぎcreative」や「金山美術学院」を主宰。髪のプロジェクトなどイベント企画も行っている。



橋本 雅好
椋山女学園大学/准教授/博士(工学)。コトづくり研究所/デザインパッサー。大学教員として、環境心理学・感性デザインなどを教えながら、学生や企業との共創でノーバージョンプロジェクト・自主施工などに取り組む。

【主催】なごや裏山芸術祭 実行委員会
【後援】名古屋市/名古屋市教育委員会/椋山女学園大学
【協力】西山商店街振興組合/椋山女学園大学 橋本雅好研究室/星ヶ丘テラス/H GARAGE
UR都市機構中部支社 住宅経営部/TT"a Little Knowledge Store/wunit design studio

展示会場

西山商店街界隈
i コトづくり研究所(インフォメーション/ショップ)
NISHIYAMANAGAYA / 未完美術館 / ヘヘヘのおへや
ベルさんのいえ / 商店街シャッターギャラリー
Pizzeria BELO
くじら図工室(植園エリア)

星ヶ丘界隈
i H GARAGE (インフォメーション)
星ヶ丘テラスWEST_M2階
TT"a Little Knowledge Store(星ヶ丘テラスEAST_4階)
椋山女学園大学 星ヶ丘多目的コート
アーバンラフレ星ヶ丘中庭

虹ヶ丘界隈
アーバンラフレ虹ヶ丘西 集会所(洋室/エントランス)

裏山スタンプラリー

名古屋市 東山の裏側を「裏山」と名付け、2025年からスタートしたなごや裏山芸術祭。今年は西山商店街や星ヶ丘に加え、虹ヶ丘周辺など回遊できるエリアを増やし、展示会場を作品鑑賞と共にめぐる「裏山スタンプラリー」も開催。さかの街を散策しながら作品を巡ってみよう！

裏山エリアへのアクセス

■ 星ヶ丘界隈へのアクセス【公共交通機関】
名古屋駅より地下鉄東山線(藤が丘方面)、星ヶ丘駅下車 徒歩約5分

■ 西山商店街界隈へのアクセス【公共交通機関】
星ヶ丘バスターミナルより名古屋市バス(幹星丘2系統、西山本通二丁目)を下車。

■ お車でお越しの場合
東名高速道路 名古屋インターより約10分
名二環 上社インターより約5分
名古屋高速 高針インターより約5分

芸術祭専用の駐車場はございません。
なるべく公共交通機関をご利用下さい。
お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

HOSHIGAOKA TERRACE
ゆるやかに、くらしつながる。
UR 賃貸住宅
i 椋山女学園大学
H GARAGE ?
TT"

めぐる

Around,
Nishiyama Shopping Street,
Hoshigaoka,Nijigaoka

めぐる

2026
10/31[SAT]・11/8[SUN]
開催時間:10:00→17:00/鑑賞無料[会期中無休の9日間]
会場:名古屋市 西山商店街界隈 / 星ヶ丘界隈 / 虹ヶ丘界隈
インフォメーション:コトづくり研究所(西山商店街内) / H GARAGE(星ヶ丘)
*当日の会場MAPと裏山スタンプラリースタンプシートはインフォメーションで配布または公式 WEB サイトにて公開します。

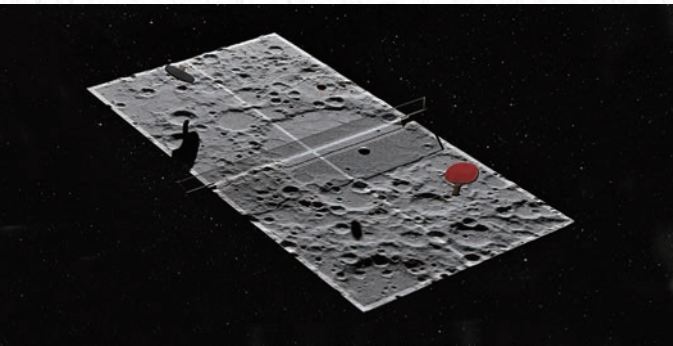
なごや
裏山
芸術祭

2026年度クリエイティブ・リンク・ナゴヤ 社会連携活動助成 採択事業

めぐる

Around,
Nishiyama Shopping Street,
Hoshigaoka, Nijigaoka

12,
Artist



YOUYOU ▲

2025年、愛知県立芸術大学大学院美術研究科修士課程修了。2021年より「ケルペロス・セオリー」に参加。取手アートプロジェクト《半農半芸》AIR（2022）、日東学術振興財団第40回芸術部門助成（2023）などに参加・採択。2025・2026年、アッセンブリッジ・スタジオ スタジオアーティスト。身体経験を出発点に、立体、映像、空間、舞台など複数の表現を横断しながら、身体と他者、環境との関係性を捉え直す実践を行っている。



井上 玲 ▲

草木染め協力 家田千春

美術作家/主婦。切り絵、平面絵画、陶芸、など表現媒体は多岐に及ぶ。中国 北京中央美術学院版画系に留学し、現代美術、民間芸術を学ぶ。オーストラリアに6年半滞在し、アボリジニーの宇宙観を、絵を通じて学ぶ。帰国後、瀬戸にて陶芸を学ぶ。芸術祭では彼女のめぐった土地の記憶を切り絵とライブペインティングで表現する。ライブペインティングでは「漆喰塗り絵」として、白線の内部の色漆喰を鑑賞者も塗ることができる。

稲葉 陸 ▲

愛知県立芸術大学デザイン専攻卒業。主にプロダクトデザインや金工/木工など立体造形の研究を行い、光や空間を活かした作品や、素材とデジタル技術を融合させた制作を継続し、アンコウの「光」に集まる習性を活かした遊具や、人の動きや空調によってランダムに光る風鈴など、人とモノが関係することをテーマに作品制作を行っている。

宮下 樹 ▼

アーティスト/衣装デザイナー 石川県 金沢市出身。現在は京都市で活動中。成安造形大学コスチュームデザインコース卒業。ギャラリーマロニエでの個展、大阪コレクション（大阪市中央公会堂）参加。原始感覚美術祭2026参加などアーティストとして作品を発表しながら、衣装デザイナーとして鬼滅の刃オーケストラコンサートやパフォーマンス公演の衣装提供/制作を行う。また、阪急うめだ10階スークにて作品販売を行う。



植村康平建築設計事務所 + 梶山女学園大学 橋本雅好研究室

建築設計やまちづくりを行う植村康平建築設計事務所と、建築・インテリア・感性デザインを研究領域とする梶山女学園大学橋本雅好研究室による共同制作。フットサル等で使われていた屋外コートを舞台に、建築やインテリアで培ってきた視点をいかし、場所の大きさや身体との距離、空間の関係性を捉え直す。異なる立場や世代の視点を重ねながら、日常の風景に新たな見え方や体験を生み出し、9日間しか見ることのできない風景をつくり出す。



とぶくじら WORKS 子どもの表現指導者 栗嶋紀子

「こどもミュージカルワークショップ」11/8[SUN]

1976年生まれ。「とぶくじら WORKS」代表。「ミュージカルアカデミーとぶくじら」主宰。ボディートーク協会公認指導者。1995年、ボディートーク協会会長増田明氏に弟子入り。子どもがいきいき輝く表現指導法を学び、2010年より多くの子どもに心を育む全身表現の場を作るべく、「とぶくじら WORKS」を設立。こどもの表現教室を開催し、毎年3月に行っている“子どもによる、子どものためのステージ”をなごや裏山芸術祭で開催する。



山田雅哉 ▲

愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士(美術)。日本画研究とその実践に裏打ちされた技法、技術と共に、現象を捕獲するように描かれる「Angel」シリーズ、日本画材の物質的生命力を発揮させる「ZEN」シリーズ、この2つを軸に制作している。主な発表に、「新進作家支援事業 山田雅哉『エチカ』」、東海テレビ「ニュースOne」番組セット・メインビジュアル担当などがある。

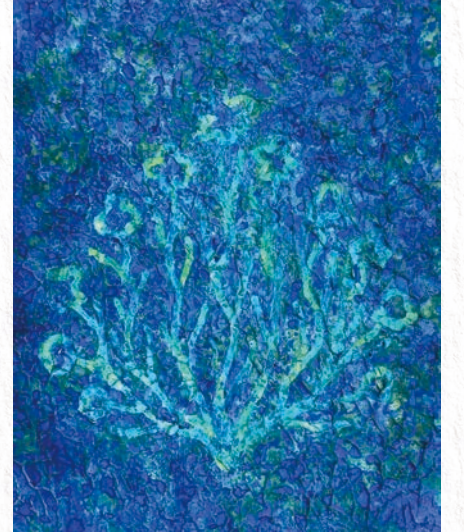


WALDEINSAMKEIT (Takahiro Miyake) ▲

小学校教諭。教員や子育ての日常を背景に、自然と人との関係性を探究する。2026年、東海国立大学機構 CommonNexus (ComoNe)「ねのねプログラム」第4期において『WALDEINSAMKEIT 都市に小さな地球をつくる試み』プロジェクトが採択される。都市の中で身近な自然に「触れる」「つくる」「遊ぶ」「拾う」「記す」イベントやワークショップを展開中。

ふしぎ creative (Yusuke Nomura) 空想キメラ動物園

ふしぎ creative はデザイナーでもある野村祐介が2020年より西山商店街にある複合施設ニシヤマナガヤにて開校した、小学生のための造形教室。平面・立体・空間など、絵画的な体験だけではなく幅広い素材や様々なジャンルに触れることを目標に活動している。なごや裏山芸術祭では、授業の1つでもある「空想キメラ動物園」をワークショップを通じて数百体のキメラを造り、インスタレーションとして展開する。



山田明広 ▲

愛知県出身 北里大学 獣医学部 生物環境科学科 卒業
主に青い作品群を作っている他、自然物を使った作品やインスタレーションなどギャラリーから森まで屋内外での展示をしている。また、耕作放棄地を再生した田んぼでの稲作、モリコロパーク内にある「もりの学舎」でのインタープリター、障害福祉施設でのアトリエ活動の講師など、幅広く活動している。
個展 @GALLERY APA 2020-26 (愛知)
コソカアートフェスティバル 2019,22,25 (千葉) など



もしもカンパニー (Honami Okuda) ▲

名古屋造形大学 プロダクトデザインコース卒業。日常の小さな気づきをヒントに見立ての手法を使って作品制作を行う。廃棄されるチラシなどの古材植物に再生させる「冊本プロジェクト」を展開。個展「雨ときどきわたし」同時代ギャラリー、なごや裏山芸術祭 2025 参加。



くじら図工室 ▲

日本大学芸術学部・彫刻コースの同級生だった青木と小島が、2010年に中国・上海で開校した子ども向けアート教室。「いろんなことができる図工室」をテーマに、絵画や立体制作、アクティビティ、共同制作など、楽しく自由なものづくりに取り組める環境を大切にしている。出張レッスンやアートイベント、提携校のプログラム開発など、幅広く活動中。